ウ　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく器械・器具を使っての基本的な運動をしたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとすること。

C　走・跳の運動

走・跳の運動について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　走・跳の基本的な運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けること。

イ　走・跳の基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えること。

ウ　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく走・跳の基本的な運動をしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとすること。

D　水の中での運動

水の中での運動について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　水の中での基本的な運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けること。

イ　水の中での基本的な運動の楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えること。

ウ　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく水の中での基本的な運動をしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとすること。

E　ボールを使った運動やゲーム

ボールを使った運動やゲームについて，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付けること。

イ　ボールを使った基本的な運動やゲームの楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えること。

ウ　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとすること。

F　表現運動

表現運動について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　基本的な表現運動の楽しさを感じ，その行い方を知り，基本的な動きを身に付け，表現したり踊ったりすること。

イ　基本的な表現運動の楽しみ方を工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えること。

ウ　きまりを守り，自分から友達と仲よく楽しく表現運動をしたり，場や用具の安全に気を付けたりしようとすること。

G　保健

健康な生活に必要な事柄について，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　健康や身体の変化について知り，健康な生活に必要な事柄に関する基本的な知識や技能を身に付けること。

イ　健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに，考えたことや気付いたことなどを他者に伝えること。

3　指導計画の作成と内容の取扱い

(1) 指導計画の作成に当たっては，次の事項に配慮するものとする。

ア　各段階の内容のまとまりを見通して，その中で育む資質・能力の育成に向けて，児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際，体育や保健の見方・考え方を働かせ，遊びや運動，健康についての自己の課題に気付き，個々の児童の障害の状態等に応じて，その解決のための方法を選んだり工夫したりするような活動の充実を図ること。また，運動の楽しさや喜びを味わったり，健康の大切さを実感したりすることができるよう，留意すること。

イ　「A体つくり運動遊び」又は「A体つくり運動」及び「G保健」については，6学年間にわたって取り扱うこと。

ウ　「G保健」については，生活科の2の各段階に示す内容のアの「基本的生活習慣」やイの「安全」などとの関連を積極的に図り，指導の効果を高めるようにすること。

(2) 2の各段階の内容の取扱いについては，次の事項に配慮するものとする。

ア　学校や地域の実態を考慮するとともに，個々の児童の障害の状態